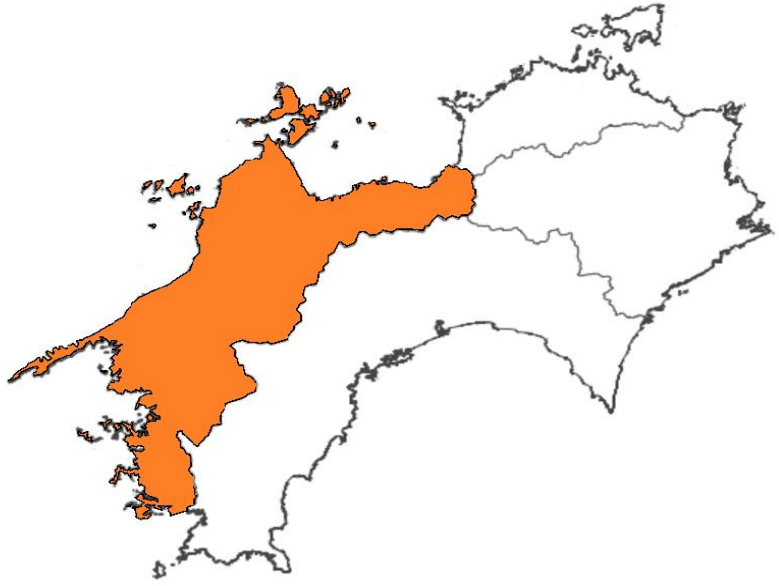
愛 媛 県 内 経 済 情 勢 報 告

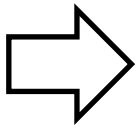
令 和 ８ 年 １ ０ 月



財　　務　　省

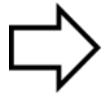
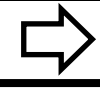
松 山 財 務 事 務 所

愛媛県内経済情勢報告

	令和8年7月判断	令和8年10月判断	7月判断との比較	総括判断の要点
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している		個人消費は、観光が回復しているほか、コンビニエンスストアやホームセンターで堅調となっていることから、全体としては緩やかに持ち直している。 生産活動は、パルプ・紙で弱い動きとなっているものの、汎用・生産用機械で緩やかに回復しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。 雇用情勢は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

〔先行き〕

先行きについては、所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

項目	令和8年7月判断	令和8年10月判断	7月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
設備投資	8年度は前年度を下回る見込みとなっている	8年度は前年度を下回る見込みとなっている	

※　8年10月判断は、前回8年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

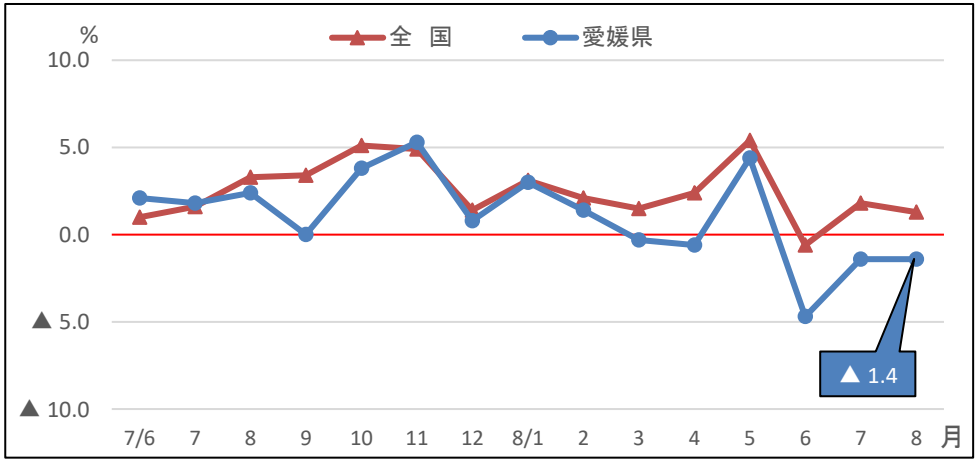
個人消費

個人消費
緩やかに持ち直している

○百貨店・スーパーは、食料品に動きがみられるものの、衣料品の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。

○コンビニエンスストアは、ファーストフードや飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔百貨店・スーパー販売状況（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



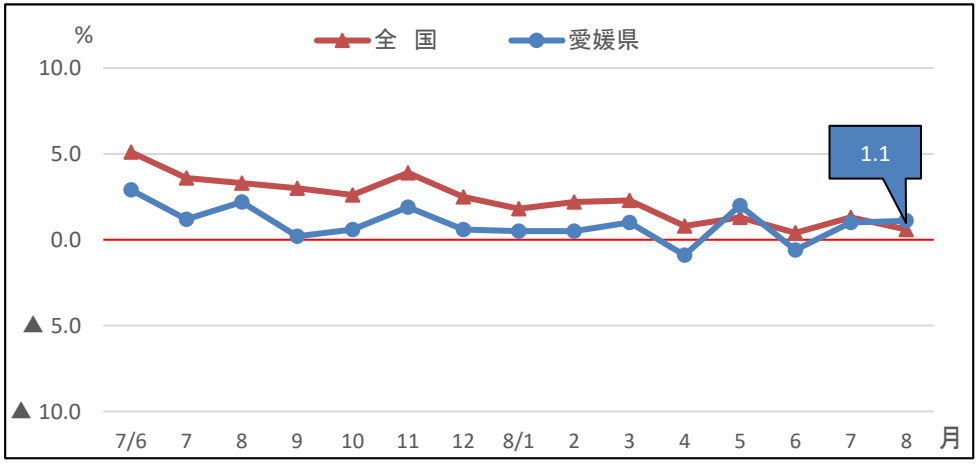
【出所】経済産業省

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

≪百貨店・スーパー≫
○物価高が続くなか、生鮮食品は生活に欠かせないものであることから堅調に推移している一方で、衣料品では節約志向の高まりを背景に不要な支出を控える動きが強まっており、落ち込みがみられている。

≪コンビニエンスストア≫
○過去に実施したキャンペーンによりリピーターの定着が進んだファーストフードが好調であるほか、商品価格が上昇しているものの買上点数に大きな変化のないことから飲料の売上げが伸びている。

〔コンビニエンスストア販売状況（前年同月比）〕



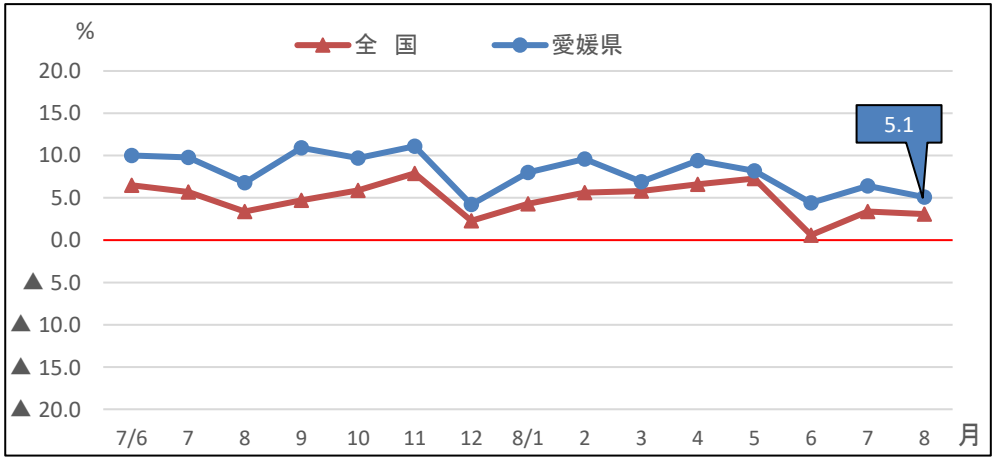
【出所】経済産業省

個人消費

○ドラッグストアは、医薬品に弱さがみられるものの、日用品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。

○家電大型専門店は、エアコン等に動きがみられるものの、パソコンの動きが鈍いことから、全体としては堅調となっている。

〔ドラッグストア販売状況（前年同月比）〕



【出所】経済産業省

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

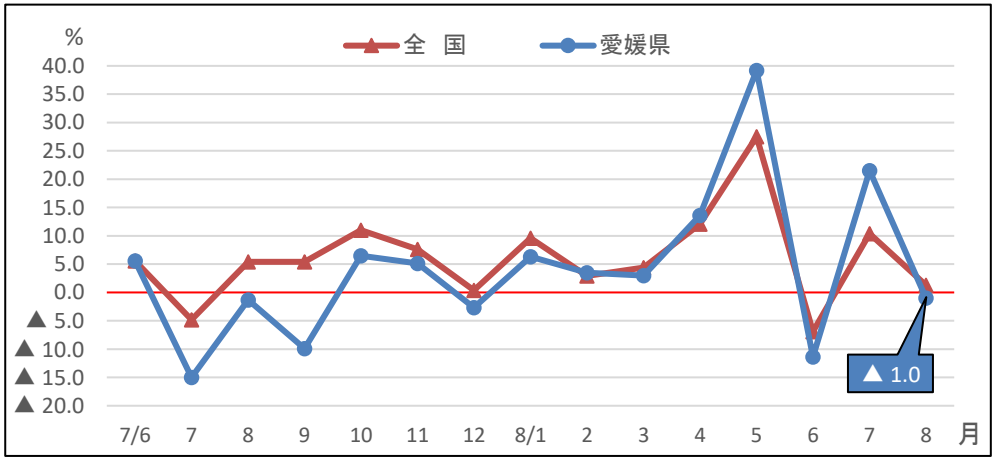
≪ドラッグストア≫

○感染症の流行が比較的落ち着いていたことに加え、指定乱用防止医薬品の鍵付き棚での保管義務化に伴い、購入時の手間が増えた影響から医薬品に落ち込みがみられる。一方で、ごみ袋やラップといった石油由来製品の売行きは引き続き好調であるほか、化粧品は新商品の発売効果もあって売上げが伸びている。

≪家電大型専門店≫

○エアコンでは引き続き2027年問題による駆け込み需要がみられる一方で、昨年サポート終了に伴う買い替え需要があった反動からパソコンの売上げが落ち込んでいる。

〔家電大型専門店販売状況（前年同月比）〕



【出所】経済産業省

個人消費

○ホームセンターは、園芸用品や冷房器具に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

○乗用車の新車登録・届出台数は、軽乗用車は前年並みのなか、普通車、小型車で前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

○観光は、直行便が好調であることなどから、回復している。

○旅行は、国内旅行は持ち直しのテンポが緩やかになっており、海外旅行は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

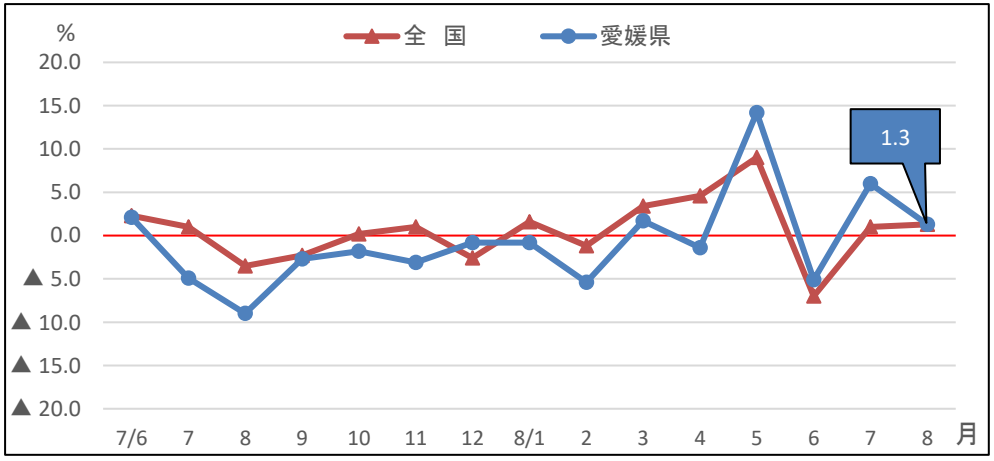
≪ホームセンター≫
○猛暑への警戒から稲わら束や散水ホースなど遮熱・避暑関連の園芸用品が伸長したほか、2027年問題によるエアコンの駆け込み需要もみられた。

≪乗用車≫
○引き続き物価高による買い控えがみられるものの、今年は新型車や商品改良車の発売により販売台数が増加している。

≪観光≫
○宣伝効果もあって、国内外から多くの観光客が訪れている。

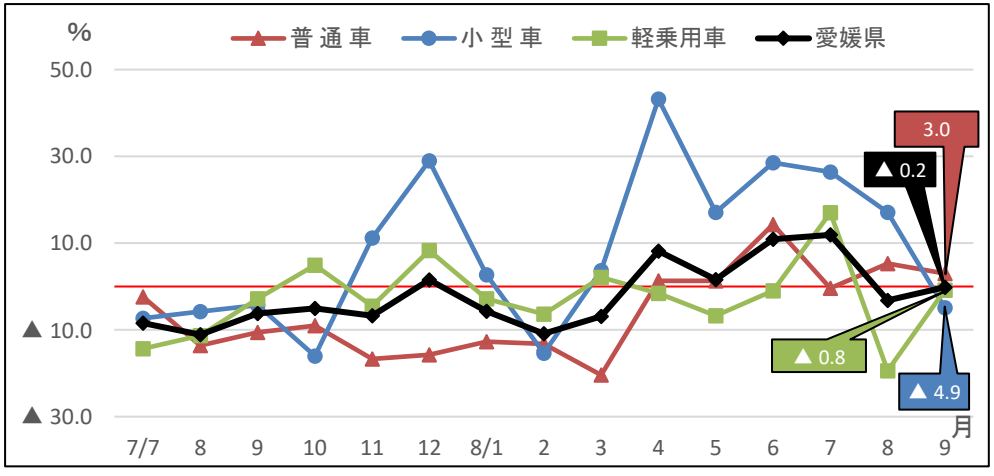
≪旅行≫
○国内旅行は、大型テーマパークが一定の需要を維持しているものの、旅行需要の停滞が感じられる。海外旅行は、中東情勢の影響により燃油サーチャージが上昇していることから落ち込みが続いている。

〔ホームセンター販売状況（前年同月比）〕



【出所】経済産業省

〔愛媛県の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会のデータから算出

生産活動

生産活動
一進一退の状況にある

○輸送機械は、一定量の受注残を維持し、高操業が続いていることから、持ち直しつつある。

○汎用・生産用機械は、海外向けの需要が増加していることから、緩やかに回復しつつある。

○電気機械は、産業向け半導体の需要が増加していることから、持ち直しつつある。

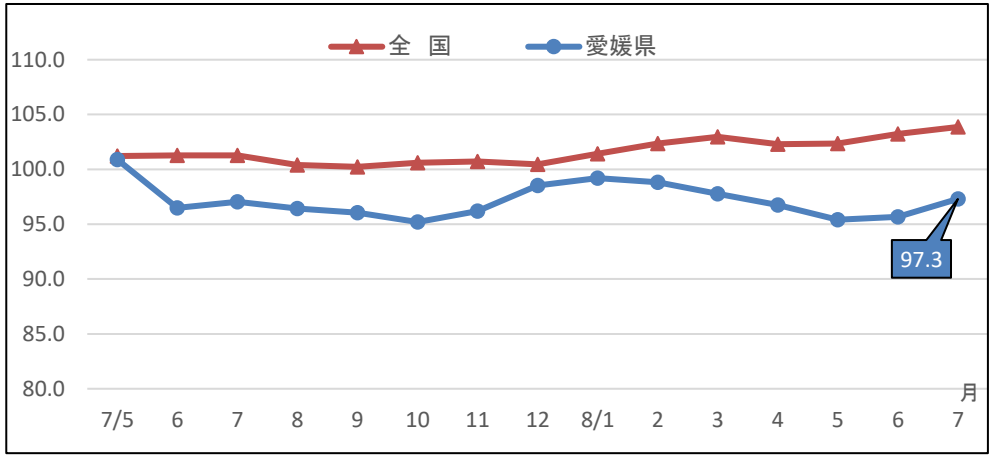
〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

≪輸送機械≫
○受注環境に大きな変化はなく、引き続き一定量の受注残を維持している。

≪汎用・生産用機械≫
○設備投資意欲の回復が感じられ、需要は底堅い。船舶向けの需要が増加している。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数・3か月移動平均）〕

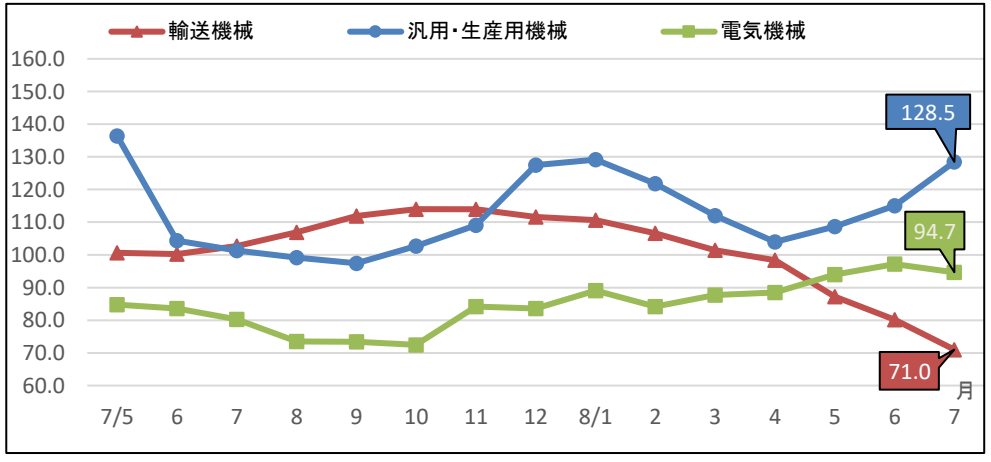
（令和2年=100）



【出所】経済産業省、愛媛県の公表データから算出

〔愛媛県の鉱工業生産指数（業種別・季節調整済指数・3か月移動平均）〕

（令和2年=100）



【出所】愛媛県の公表データから算出

生産活動

○化学は、横ばいの状況にある。

○非鉄金属は、回復の動きに一服感がみられる。

○食料品は、外食向けやホテル向けで動きがみられることから、持ち直しつつある。

○パルプ・紙は、印刷用紙などの需要に弱さがみられることから、弱い動きとなっている。

○繊維は、一進一退の状況にある。

○プラスチック製品は、受注に弱さがみられることから、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

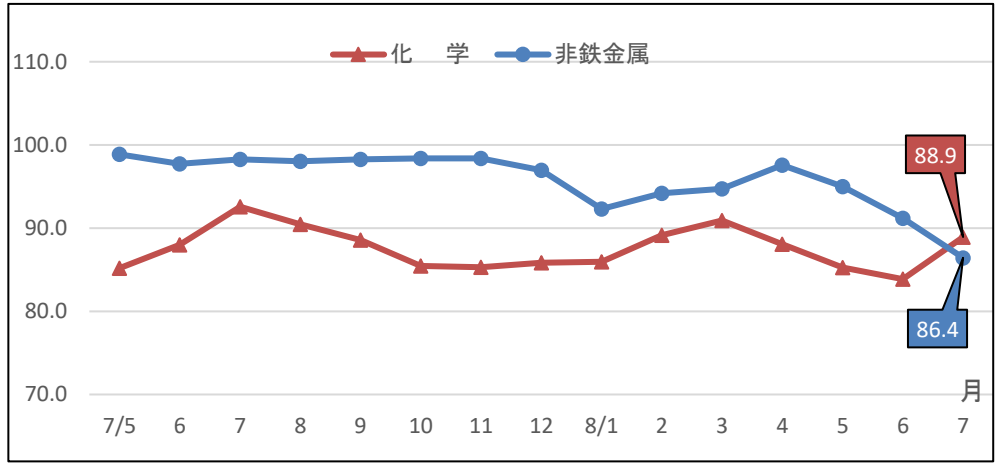
〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

≪食料品≫
○インバウンド需要を背景に、外食向けやホテル向けの需要が堅調に推移している。

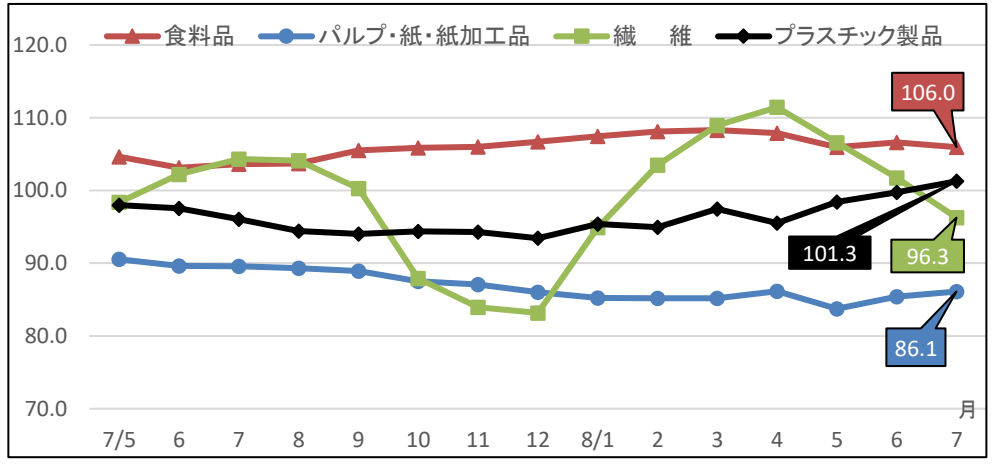
≪パルプ・紙≫
○ペーパーレス化などが進んでいるほか、値上げの影響もあり、全般的に需要が減少している。

〔愛媛県の鉱工業生産指数（業種別・季節調整済指数・3か月移動平均）〕

（令和2年=100）



【出所】愛媛県の公表データから算出



【出所】愛媛県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢
持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

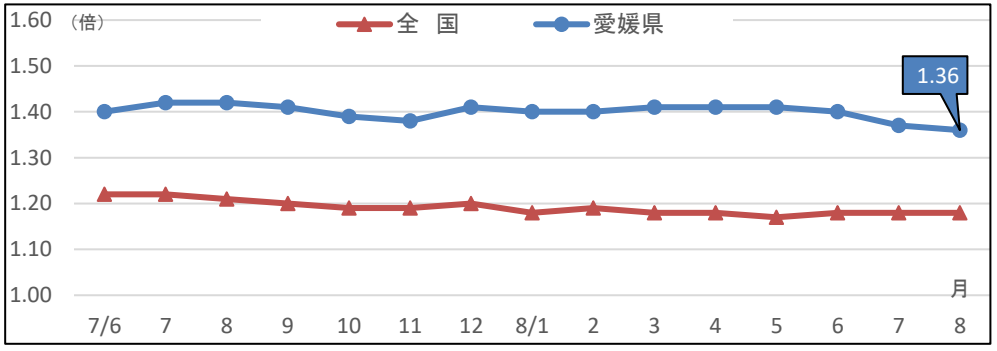
○有効求人倍率は、低下している。

○新規求人数は、令和8年6月～8月の期間合計が前年同期を下回っている。

〔愛媛県内地域経済に関する生の声〕

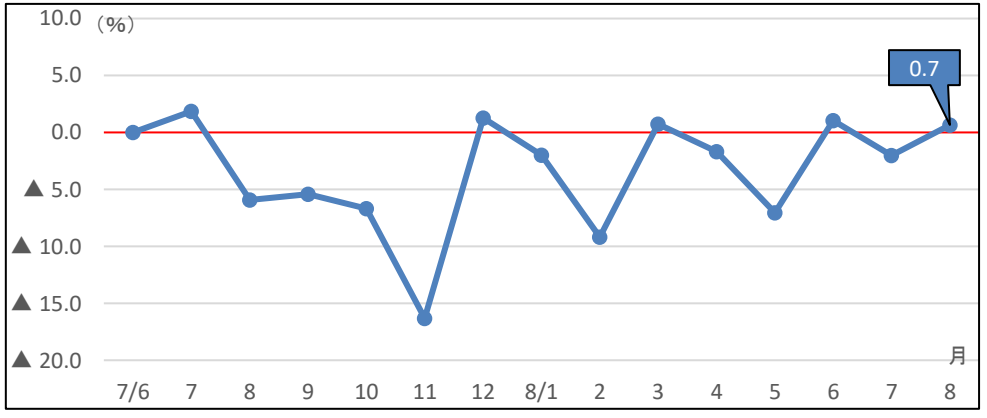
≪労働局≫
○求人の動きに弱さがみられる。企業が省人化などに取り組んでいることから、工場において生産設備投資が行われている場合でも、新規求人の増加に結び付かないケースが見受けられる。
　また、小売業では、セルフレジの導入による省人化の加速などを背景に、パートタイムの求人の手控えがみられる。

〔有効求人倍率(季節調整値)〕



【出所】厚生労働省、愛媛労働局

〔愛媛県の新規求人数　(原数値・前年同月比)〕



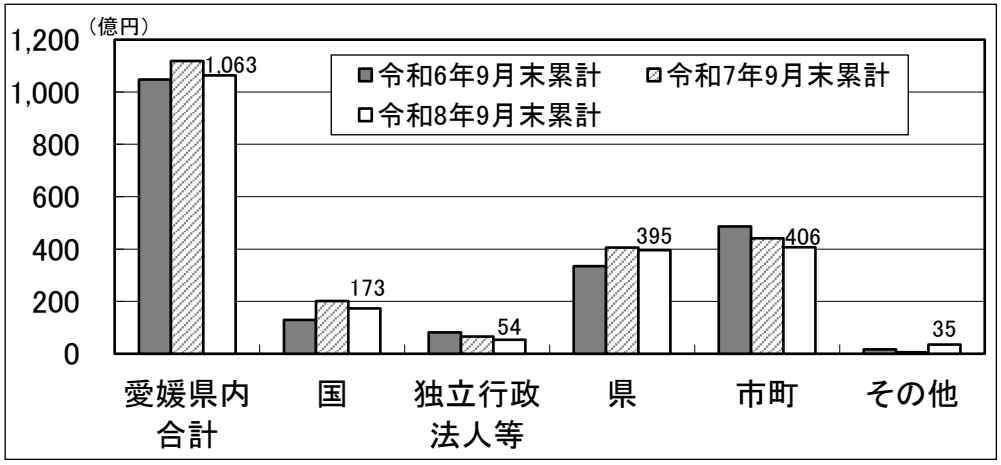
【出所】愛媛労働局

公共事業・住宅建設

公共事業
前年度を下回っている

○前払金保証請負金額でみると、国、独立行政法人等、県及び市町でいずれも前年度を下回っていることから、全体としては前年度を下回っている。

〔愛媛県の公共工事前払金保証請負金額(9月累計額)〕

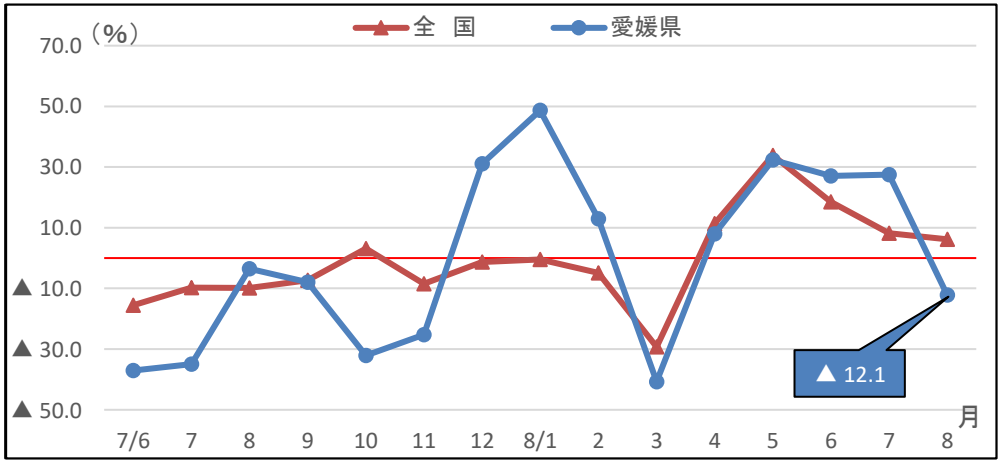


【出所】西日本建設業保証(株)等

住宅建設
前年を上回っている

○新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家で前年を下回っているものの、分譲で前年を上回っていることから、全体としては前年を上回っている。

〔新設住宅着工戸数(前年同月比)〕



【出所】国土交通省

〔利用関係別着工戸数(愛媛県)〕

	前期(令和6年9月～令和7年8月)				今期(令和7年9月～令和8年8月)				前年同期比
	9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月	(6月～8月)
持 家	748	532	659	701	656	602	612	665	▲5.1%
貸 家	363	278	524	365	233	382	246	246	▲32.6%
分 譲	386	89	110	153	260	173	170	426	178.4%
合 計	1,503	904	1,300	1,225	1,157	1,167	1,168	1,378	12.5%

※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

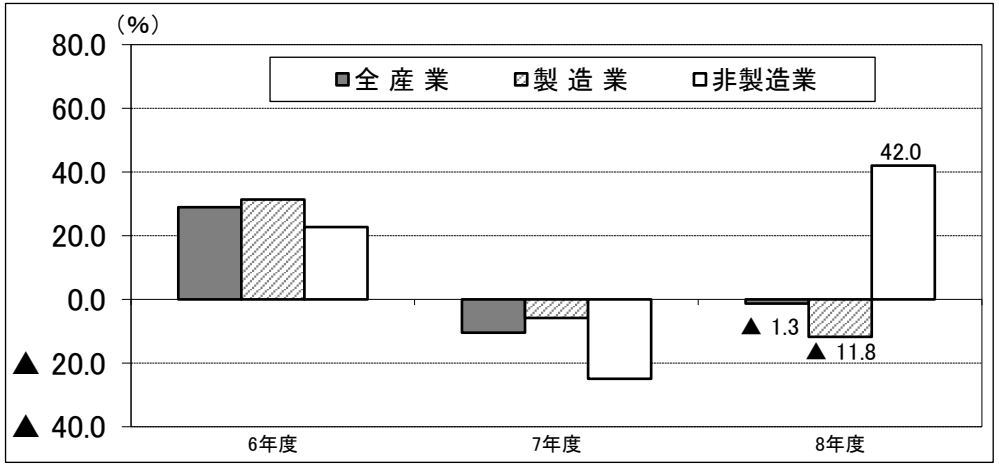
設備投資・（企業倒産）・（消費者物価）

設備投資
8年度は前年度を下回る見込みとなっている

（企業倒産）
件数は前年並みとなっているものの、負債総額は前年を上回っている

（消費者物価）
前年を上回っている

〔設備投資額　前年度比（愛媛県）〕

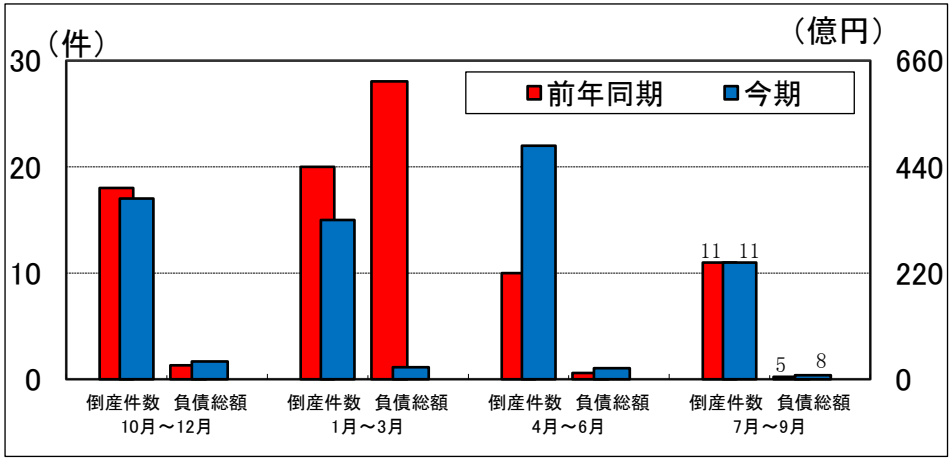


※ソフトウェア含む、土地除く

※令和6年度は令和7年1-3月期、令和7年度は令和8年1-3月期、
令和8年度見込みは令和8年7-9月期の法人企業景気予測調査結果

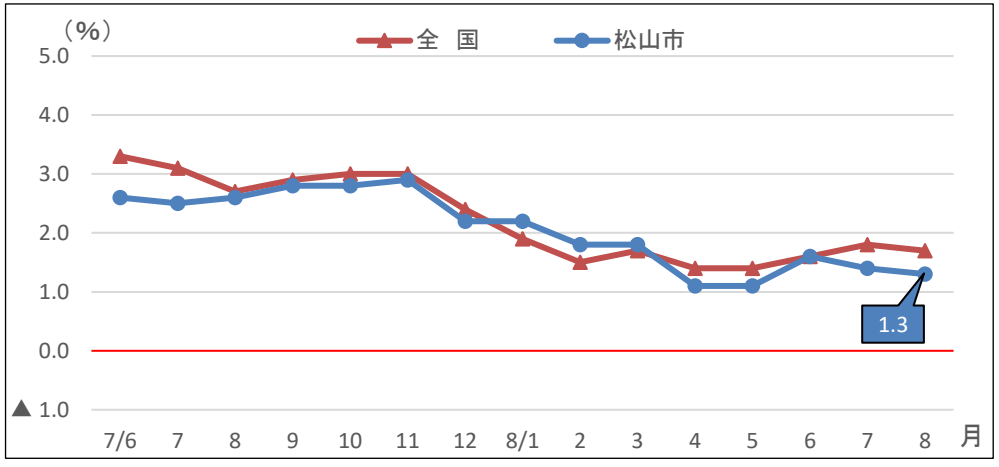
【出所】四国財務局松山財務事務所

〔倒産件数、負債総額（負債額1,000万円以上、愛媛県）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合：前年同月比）〕



【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは
TEL （089） 941-7185
総務課(内線610)又は
財務課(内線630)へ